

長泉寺毘沙門天像・納入品

美術工芸研究室

54年度に行った奈良を中心とした近畿地区の文化財調査で特に注目されたのが奈良県広陵町長泉寺木造毘沙門天立像である。像高66.2cm、桧材、寄木造、彩色（一部箔押、切金文様）彫眼の技法になる。本体の木寄は、頭部は耳後の線で前後二材矧とし、脣部は別材製矧つけ、体部は根幹部を一材から彫成して背面に背枝を当てる。各内刳を施し、首納差とするが、頭部前面材は体部材と共に木から彫成し割矧いたかとみられる。これに両肩、右手肘、同袖部、両手首、右脅先等を更に矧ついている。現在、像の表面は古色におおわれているが、両相部には朱、甲の部分には漆箔や切金文様が残っており、造像時には華やかな彩色文様が施されていたものであろう。なお、右肩以下の部分は後補、右手前腕部、左手首、右脅先などが失われており、右手首は当時のものが残っている。この他、足下の邪鬼、岩座も後補のものと替っている。

甲で身を固め、腰をやや左に引き、左手で宝塔を棒げ、右手で戟を執って二匹の邪鬼を踏えて立つ通形の毘沙門天像である。体軀の均齊がよくとれ、しかも動きを控えたその姿態には破綻がなく、また面相や甲などの質感がよく表現され、甲の細部もよく整理されて全体に形よくすっきりと象形されている。このような表現や構造、技法などから本像の制作年時は平安時代末から鎌倉時代初めにかけての頃かと推定される。

この像で注目されるのは像内の内刳部に53枚の印仏が納入されていたことである。印仏は別表のように16束に折畳まれ、頭部に2束、体部に14束が納められ、その一部はコヨリで留められている。種類は毘沙門天印仏50枚が中心で、如来坐像印仏2枚、十一面観音立像印仏1枚および毘沙門天印仏中に不動明王坐像を押捺するもの1枚を混えている。紙質は楮紙、皮紙の二種が用いられ、各紙共幅30cm前後であるが長さは一定しない。各印仏共一軸一印で、毘沙門天は一紙に10段10列前後、如来像は9段7列および8段6列、十一面観音は一紙一軸、不動明王は毘沙門天に準じている。不動明王、毘沙門天の二種は簡略な図様であるが、如来像は小印ながら面相、法衣のひだ、蓮弁などを細かい線で入念にあらわし整った像様を示しており、その形から天台系の薬師如来かと考えられる。十一面観音は左手に蓮花、右手に念珠を執り、周

縁部に火焰を付した二重円相光を背にし、蓮花座上に立つ形である。さすがに大形の印仏だけあって胸飾、裳のひだ、持物など細かいところまで丁寧にあらわしている。頬のふくらんだおだやかな面相、ふくらとした質感のある体躯、頭上面を上下三段にあらわした頭部と体躯との均衡もよく、また光背や台座も形よく表現されていて、この種印仏中抜群の出来栄えを示している。十一面觀音、不動明王、毘沙門天の組合せは天台系の教義に基づくものとみられ、これら53枚の印仏は、その表現に精粗の差があるが、納入状態や図様などから造像当時のものと認めることができよう。

像内に印仏を納入することは平安後期から行われ、鎌倉時代に例が多く、平安時代の作例では奈良県中川寺十輪院旧蔵木造毘沙門天立像（応保2年—1162、毘沙門天印仏）、滋賀県寿福寺木造千手觀音立像（嘉応2年—1170、千手觀音印仏）、長野県大平区木造千手觀音立像（治承3年—1179、千手觀音印仏）その他数例が知られているにすぎず、本像の印仏はこれらに次ぐ古例で、その出来栄えからも、像内納入印仏中貴重な在存といえる。なお、これだけの数の印仏が納入されていながら年紀、作者、願主等の記載がないのが惜しまれる。

（田中 義恭）

名 称	版 型		像 高 cm
	タ チ	ヨ コ	
毘沙門天立像	5.9	2.5	5.0
如来坐像	5.2	4.7	3.75
不動明王坐像	4.1	2.8	2.9
十一面觀音立像	(38.0)	(16.0)	31.5

印仏の寸法

納入 部位	番 号	一枚 表 の 枚 数	寸 法		印 仏 列 数	印 仏 段 数	紙 糊	備 考	
			タテ cm	ヨコ cm					
頭部 納入	1	1	42	24.5	10	10	2		
	2	2	60	25.5	10	10	2		
体部 納入		54	26.5		10	9	1	下部欠損	
	1	3	62	30	10	10	2		
		51	34		13	8	1	下部欠損	
		3.2	26		10	1	1	頭部のみ（ヨリカ）	
		50	32		12	9	2		
		54	32		11	8	1		
	2	5	54	32	12	9	1	{ 内1段5列 }	
		54	32		12	9	1		
		50	32		14	8	1	内2段12列	
	3	1	71	27	9	11	2		
	4	1	54	29	10	8	1		
	5	2	66	26.5	10	10	2		
		48	26.5		9	7	2		
	6	2	75	27	10	12	3	下部2段不動明王坐像	
		74	25		10	10	2	内1段8列	
		54	28		10	8	1	内2段11列	
		46	30		10	7	1	内4段8列	
		67	27.5		10	11	2	内2段9列	
		58	28.5		10	9	2		
		20	28.5		11	3	1	十一面觀音立像	
		47	28		1	1	1	如來坐像	
		48	31.5		7	9	1	如來坐像	
	7	16	43	30	6	8	1		
		56	28		12	9	2		
		55	28		12	9	2		
		51	33		12	8	1		
		50	30		11	8	1		
		45.5	26.5	6	9	1	内2段7列		
		46.5	27	6~8	9	1	内1段6列如來坐像		
		54	34		13	8	1	5段7列	
		63.5	26		10	10	2	3段8列	
		60	31		11	9	2	内1段12列	
		53	32		13	8	1	内1段8列	
		45	24.5		9	7	1	内2段8列	
	8	8	50	24.5		7	2	{ 1段11列 }	
		66.5	30.5	11	10	2	4段12列		
		52.5	31.5	11~14	8	1	2段13列		
		58	31.5	12	9	2	内1段14列		
		58	32.5	12	9	2	{ 2段13列 }		
		51	33.5	13~15	8	1	内1段14列 1段15列		
	9	3	45	28	12	7	2	内1段13列	
		65.5	31		10	10	2		
	10	1	66	27	10	10	2		
	11	1	65.5	26.5	10	10	2		
	12	2	62.5	26.5	10	10	2		
		65.5	27.5		10	10	2		
	13	2	46	26.5	10	7	1		
		53.5	28.5		10	8	2		
	14	1	65.5	26.5	10	10	3		
	15	1	65.5	27	10	10	2		
	16	1	6.5	28	11	1	1	(ヨリカ)	

* 16束 53枚 尼沙門4275、如來176、不動20 十一面1 計4469枚

* 備考欄に尊名の記載のない分は尼沙門天立像

納入品及納入状況